

平成24年度業務計画書

I. 業務の内容

1. 業務の題目

「伝える」科学コミュニケーションに関する基礎調査

2. 担当フェロー

渡辺 政隆（筑波大学教授）

3. 業務の目的（5年間）

科学コミュニケーションセンターの一連の活動を戦略的に行うため、主として「伝える」科学コミュニケーションについて、全体を俯瞰して課題を抽出し、既存事業の見直し、新規事業、課題研究のテーマ等について提案を行う。

具体的には、まず、過去のデータ、報告書の整理、分析を行い、これまでJSTが推進してきた科学コミュニケーション活動のマッピングを行った上で、より広い母集団について調査を行い、わが国が推進すべき科学コミュニケーションについて提案する。

4. 当該年度における成果の目標及び業務の方法

① 旧科学ネットワーク部から継続している事業の分析

事業担当者へのヒアリング、実施報告書、アンケート調査の結果等、これまでに蓄積されたデータを分析し、これまでJSTが行ってきた科学コミュニケーションに関する事業について、各事業担当者と共同して総括を行う。

（テーマ例）※これらに限るものではなく、他に優先度が高い課題があれば実施しない場合もある。

a. サイエンスアゴラ

サイエンスアゴラに関する過去の報告書を分析するとともに、これまでJSTが支援してきた事業を中心に類似の科学フェスティバルと比較し、今後のサイエンスアゴラのあり方を検討する。

b. 支援事業

これまでの支援事業について、実践者、参加者、支援地域、イベントの種類、目的等を整理し、「伝える」科学コミュニケーションの現状を俯瞰する。

また、これまで支援してきた科学コミュニケーションの取組みや形成されたネットワークは質、量ともに十分か、支援が不足している地域、活動領域は何かといった項目について検討する。

c. サイエンスチャンネル

メディア環境が大きく変化する中で、公的機関として必要な科学コミュニケーションメディアとは何かを検討する。

② 既存事業の見直し、新規事業、課題研究テーマの提案

①を踏まえ、既存事業の見直し、新規事業、課題研究テーマを提案する。

II. 業務の実施体制

業 務 項 目	担 当 者	備 考
①～③	渡辺 政隆 アシスタント（未定） ※各事業と密接な連携の下に行 う。	